

## &lt; 個別案件確認表（組織委員会） &gt;

組織委員会担当確認年月日 2019年10月24日

東京都作業部会確認年月日 2019年10月25日

事業名 会場運営業務委託

案件名 43 競技会場における会場運営業務委託

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		本事業は、東京2020大会における会場運営業務を行うために、必要な事業である。 よって、大会に必要な経費として、5/31の大枠合意に基づき、パラリンピック経費の1/4相当額を東京都が負担する事項と考える。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		本事業は、大会運営そのものを行う事業であり、組織委員会が全会場のサービス水準や運営方法を担保すべき観点から一元的に実施した方が効率的かつ効果的と考える。	
経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	必要性	本事業は、東京2020大会における競技会場の運営の一部を委託するものであり、会場運営のソフト面を担う根幹の事業である。	
	効率性	本事業は、効率的かつ安全な大会運営を実現すべく、イベントに精通している事業者により運営の一部を委託するものである。当該事業者は、全会場のテストイベント実施計画策定を通じて、会場及び競技の特性について熟知をしている。また、これまでのテストイベントを円滑かつ安全な運営により成功させるなど、確実に実績を積み重ねている。あわせて、組織委員会を取り巻く状況やFAが細分化された特殊な組織体制であることによる課題等についても的確に把握ができており、新規事業者が受託する場合と比べ、計画検討に要する時間短縮やコスト面において効率的に実施することが可能である。	

	納 得 性	<p>2020 年に向けて人件費単価が高騰している状況を踏まえ、テストイベントを委託している事業者へのヒアリングを通じて、本事業を遂行するために必要な実勢単価を計上している。また、10社の委託事業者は、①これまで実施された Wave 1 と 2 のテストイベントについて、円滑かつ安全な運営により、Wave3 と競技は異なるものの、「テストイベント」を成功させた実績があること②Wave3 のテストイベントについても、既に各会場の実施計画の作成を通じて、各会場及び競技の特性等について熟知していることから、円滑かつ効率的にテストイベントを実施することが可能である。さらに、その知見やノウハウを一貫して活用してもらうことで、大会本番の運営についても円滑かつ効率的に実施することが見込めるものである。</p>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<p>本事業は、パラリンピックも含めた大会時の運營業務そのものを委託する経費であり、会場・競技運営上必要不可欠である。</p> <p>また、現時点では大会経費の都の枠内であることを確認できないため、経費は組織委員会負担とする。</p>		

\* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。